

NEWS RELEASE

<<http://www.takara-bio.co.jp>>

2020年1月16日

T B 1 9 - 0 7 3 5

米国Tmunity Therapeutics社に 遺伝子治療関連技術の非独占的ライセンスを供与

タカラバイオ株式会社は、このたび、米国 Tmunity Therapeutics, Inc. (以下 Tmunity 社)と、当社が保有する遺伝子治療に関する特許の非独占的な商業ライセンス契約(以下、本契約)を締結しました。

今回、Tmunity 社にライセンスした特許は siTCR 技術に関するもので、siRNA を用いて T 細胞内在性の T 細胞受容体(TCR)の発現量を減少させ、人為的に導入した治療用 TCR の発現量を上昇させる技術に関するものです。本技術により、近年、開発が盛んながん免疫遺伝子治療分野で、高い抗腫瘍効果ならびに副作用のリスクが低い遺伝子改変 T 細胞の作製が可能になると期待されます。

Tmunity 社は、がん免疫遺伝子治療分野で TCR 遺伝子治療や CAR 遺伝子治療などの遺伝子治療の商業化を目指す米国のベンチャー企業です。本契約により、今後、同社の特定の遺伝子治療プロジェクトで siTCR 技術が使われる予定です。

当社は、siTCR 技術を利用した遺伝子治療の臨床開発を国内外で実施しており、国内では大塚製薬株式会社と NY-ESO-1・siTCR[®] 遺伝子治療薬(開発コード TBI-1301 および 1301A)の共同開発を行っています。当社は今後も、遺伝子治療の臨床開発を進める企業、機関に対し、siTCR 技術のライセンスの導出を進め、遺伝子治療の開発・実用化を促進するとともに、未充足の医療ニーズの解決に取り組んでまいります。

なお、本契約による 2020 年 3 月期の業績への影響は軽微です。

<参考資料>

【Tmunity 社概要】

会社名 : Tmunity Therapeutics, Inc.
所在地 : 3020 Market Street, Suite 535, Philadelphia, PA 19104
設立年 : 2015 年
事業内容 : 細胞・遺伝子治療等の研究開発
URL : <https://www.tmunity.com/>

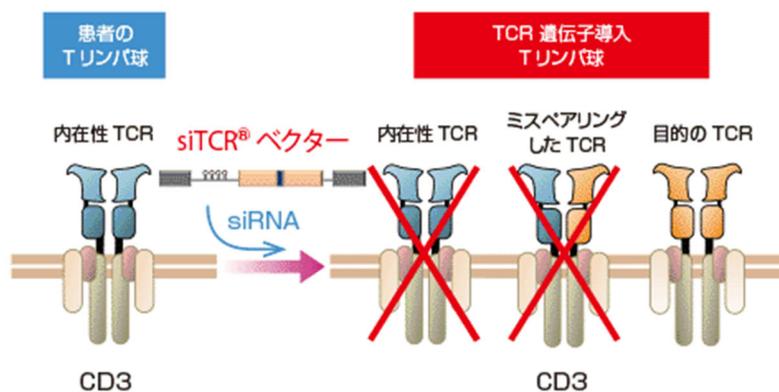
CAR 遺伝子治療の開発者として著名な Carl June 教授をはじめとするがん免疫分野の著名な研究者たちにより創立され、米国ペンシルバニア大学 (University of Pennsylvania)、パーカーがん免疫研究所 (Parker Institute for Cancer Immunotherapy) などとの共同研究を通じてがん免疫医療分野で、複数の臨床開発プロジェクトを進めています。

【語句説明】

siTCR 技術

T 細胞 (免疫機能を司る細胞) が本来持っている内在性 TCR の発現を siRNA と呼ばれる短鎖 RNA により調節する技術です。これにより、T 細胞が本来持つ内在性 TCR を低減させ、導入した治療用 TCR の発現が高くなり、治療有効性の向上、副作用リスクの低減につながると考えられます。

siTCR[®] 技術



- ・ TCR 形成に必要な CD3 分子の競合が低減し、導入した目的 TCR の発現が高まる
- ・ T リンパ球がもともと持っている内在性 TCR を siRNA により抑制し、ミスペアリングを低減

TCR(T細胞受容体)

T細胞の細胞表面に在るタンパク質です。T細胞ががん抗原などを認識する際に作用します。

TCR 遺伝子治療

体外で T 細胞に TCR 遺伝子を導入し、その T 細胞を培養して増殖させた後に輸注によって患者に投与する治療を TCR 遺伝子治療といいます。TCR 遺伝子が導入された T 細胞ががん細胞を特異的に認識して攻撃し、消滅させることによりがんを治療します。

遺伝子改変 T 細胞

T 細胞に治療用遺伝子を導入した細胞のことです。遺伝子を導入した細胞を体内に輸注などにより投与することで治療を行います。

当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

この件に関するお問い合わせ先
タカラバイオ株式会社
広報・IR 部
Tel 077-565-6970